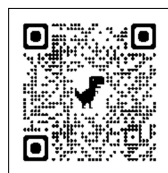


「自主、自立、自信」子供のやればできるの体験を支える学校づくり



R7年8月26日

文責：校長

二学期始業式

二学期を充実した学期に



い」という言葉があります。平凡なことを徹底してできるように繰り返すことは、一人前の大人になる基礎を築くことにつながります。例えば靴やスリッパを脱ぐとき、きちんと向きを変えて揃えることや、食事が終わって立つ時に席を元の位置にサッと戻せることなどが大切です。また、丁寧にお辞儀をしてあいさつができるなど、当たり前のことが自然にできるよう凡事を粘り強く支援していきたいと思っています。ご家庭でもご指導お願いいたします。

26日(月)の始業式では子どもたちに次の3点を話しました。一点目は、「履き物を揃える」です。『くつ箱のくつや学校のトイレのスリッパをはじめ、学校の施設や自分の家でも履き物を揃える気持ちと習慣を身に付けましょう』と話しました。



二点目は『勉強で分らないところをそのままにしない』です。はじめから何でも分かる人はいません。簡単に諦めず先生や友達、お家の人に聞いたり、自分で粘り強く考えたりすることで学習は定着していきます。難しいことから逃げずに立ち向かう力をつけてほしいと思います。



三点目は「努力を続け心を

強くする」です。やると決めたことを努力し続けることで、自分の可能性が広がり、これからの人生を豊かにすることにつながると話しました。

『積土成山』(せきどせいざん)という言葉がありますが、わずかな土でも積み重ねていけばやがて山になるという意味の言葉です。小さな努力を積み重ねていけばやがて大きな成果になるという例えとして使われ、「塵も積もれば山となる」ということわざの類義語とされています。二学期も、決めた目標に向けて、粘り強く努力を続ける心の力をつけて成長してほしいと思います。

- 一、履き物をきちんとそろえる(凡事徹底)
- 二、分らないことをそのままにしない
- 三、努力を続け、心を強くする

植柳ふるさと祭り

8月14日(水)に「植柳ふるさと祭り・植柳盆踊り」が開催されました。国選択無形民俗文化財である『植柳の盆踊り』は江戸時代の初期に始まったとされ、亡くなった家族や先祖の魂がこの世に戻ってくるお盆の時期のこの日に、本校運動場等で披露される伝統の盆踊りです。



ありがとうございました！(PTCA奉仕作業)

特に今年は、植柳神社から本校に場所を移して40年の節目にあたる年だそうです。式典では、木村県知事や中村八代市長、中教育長をはじめ多くの来賓の方々が壇上に上がられ、祝辞を述べられました。

最後は40回記念花火が披露され、ファイナレを飾りました。PTA本部役員の皆さんには射的のコーナーを出店していただき、子供たちもたくさん参加し、楽しそうに過ごしていました。

このお祭りに参加させていただき、参加されている方々の素敵な笑顔を拝見して地域の繋がりの深さと地域を愛する気持ちをとても強く感じました。関係者の皆様のご尽力に敬意と感謝をいたします。



8月3(日)に、PTCA奉仕作業を行いました。日曜日にもかかわらず早朝からたくさんの方々が保護者・地域の方に作業をしていただきました。今年の夏は特に暑く、雑草が生い茂った上に、少雨の影響で地面が固くなり作業が大変でしたが、皆様のご協力でも綺麗になりました。子供たちの姿もたくさん見られ、お家の方と一緒に汗いっぱいながら作業する姿にとっても嬉しく思いました。暑い中でしたが、本当にありがとうございました。